

事務事業評価シート

H27(標準事業)

①基本事項	計画コード	事業名	部名	企画総務部
	02019-1	広報紙発行費	室名	広報秘書室
	基本施策の大綱	02:市民参画・協働と地域づくりの推進	財	会計 一般会計
	基本施策	06:情報の提供と共有	務	款 総務費
②実施体系	施策の方向	01:行政情報の市民との共有化	科	項 総務管理費
	戦略プロジェクト		目	目 広報活動費

②目的・概要	対象	市民
	目的	市の主要施策、各種事業、お知らせ等の様々な情報を市民に提供することで、市民との情報の共有化を図り、市政の円滑な運営につなげる。
	概要	「広報かめやま」を月2回(1日号・16日号)発行する。掲載記事については、市民にとって有益な情報をタイムリーに分かりやすく提供し、親しみを持って読んでいただける紙面づくりを行う。

		27年度	28年度
①	名称	「広報かめやま」の発行回数	計画値
	補足		実績値
			23
		単位	回
②	名称	「広報かめやま」における特集記事(2ページ以上)の掲載回数	計画値
	補足		実績値
			28
		単位	回
③	名称		計画値
	補足		実績値
		単位	
④	名称		計画値
	補足		実績値
		単位	

年度計画				年度実績			
				【発行回数】年23回(毎月2回、1月は1回) 【発行部数】17,700部/回			
④事業の計画・実績	事業費		計画額	予算額	決算額	人件費	総人件費 ① 11,376
		事業費		8,212	7,850	一般職員人件費 ② 11,376	平均給与額×③
		国庫支出金				所要人員 ③ 1.50	
		県支出金				臨時職員人件費 ④	
		地方債				⑤	
		その他				受益者負担額	
		一般財源		8,212	7,850	受益者負担率	0.0% ⑤ / ⑥
		再掲	翌年度への繰越額				
			前年度からの繰越額				
			総人件費		①	11,376	
	総コスト		⑥	19,226			

⑤事業の評価	【事業の成果】	総合判定
	毎月1日号を“特集型”、16日号を“お知らせ型”へと一層区別することで、メリハリのある紙面づくりを行い、市民との情報共有化に繋げた。また、「かめやまホームケアネットの開始」、「テレビ・ゲーム・スマートフォンなどが子どもに与える影響」など、テーマ性を持った特集記事(4ページ)を掲載し、市民に有益な情報提供が行えた。さらに、伊賀市・甲賀市・亀山市広域連携推進会議にかかる取り組みとして、3市が同一記事の掲載を行い、市民等の交流促進に寄与できた。	A 順調に進んだ

⑤事業の評価	【反省点・課題】
	<ul style="list-style-type: none"> 市の特色ある施策等を積極的に紹介するとともに、それを理解してもらえるような表現やデザイン等に取り組む必要がある。 毎年定型(パターン)化している掲載記事などは、担当室と綿密な調整を行い、工夫していく必要がある。 市ホームページや行政情報番組などの情報発信媒体が幾つかある中で、他の媒体とのバランスを考えながら広報紙の特性を活かした情報発信を行う必要がある。

⑤事業の評価	【改善の方向性】
	<ul style="list-style-type: none"> 毎月1日号は特集記事等を集約して内容を充実させ、毎月16日号は完全な“お知らせ版”とすることで広報紙の特色を出すようにする。 デザインソフト導入により、より関心を持ってもらえるような紙面デザインに取り組むとともに原稿作成の作業効率向上を目指す。 広報紙における広告収入についての検討(広告募集方法、金額、掲載位置など)を進める。

事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切	最終評価確認者: 広報秘書室長 大泉 明彦
--------------	---------	-----------------------